



平成 19 年 6 月 28 日

各 位

会 社 名 富士フイルムホールディングス株式会社  
代 表 者 の  
役 職 氏 名 代表取締役社長 古 森 重 隆  
(コード番号：4901 東証第一部・大証第一部・名証第一部)  
問 合 せ 先  
責 任 者 経営企画部 IR 室長 吉 沢 勝  
電 話 番 号 03 (6271) 1111

### 株主総会議案の一部否決についてのお知らせ

本日開催されました第 111 回定時株主総会におきまして上程した 9 つの議案のうち、第 2 号議案「定款一部変更の件」に関しまして 65.97%の賛成票を獲得いたしましたが、議決権行使株主の 3 分の 2 以上の賛成を得ることができず、極めて僅差で否決されましたので、お知らせいたします。

#### 第 2 号議案

(下線は変更部分)

現行定款	変更定款案
<b>第 2 章 株式</b> 第 6 条 当社の発行可能株式総数は、 <u>800,000,000</u> 株とする。	<b>第 2 章 株式</b> 第 6 条 当社の発行可能株式総数は、 <u>1,200,000,000</u> 株とする。

本議案の趣旨は、業界の主要企業と比較して格段に小さい発行余力を合理的な範囲で是正し、M&Aを含む成長戦略を積極的に展開していくために必要な将来に亘る資金調達と資本政策の機動性を確保するということにありました。多くの株主の皆様にはかかる点をご理解いただき、3 分の 2 近くの賛成票を投じていただきましたが、一部機関投資家の皆様はその趣旨を十分にご理解いただけない側面がありましたことを真摯に受け止めております。資金調達及び資本政策に係る当社方針につきましては、引き続き株主の皆様はその意義・必要性などについて十分な説明責任を果たし、一層のご理解をいただくよう努めていく所存でおります。

当社は、中期経営計画「VISION75」のもと、当社が持つ強固な経営財務基盤、ブランド力、研究・技術開発力における優位性を最大限に活用したダイナミックな経営戦略を推進し、引き続き株主価値の向上を常に意識した事業運営を行って参ります。株主の皆様には、なにとぞご理解を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。